

令和2年3月26日



担当課	文化振興課
担当者	宮脇・中島
電話	(073) 435-1194
内線	3026

「和歌山市の偉人・先人」顕彰について

「偉人・先人顕彰」は、本市出身者又は本市にゆかりの深い方のうち、近代史及び現代史上の人物で、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において産業・文化等の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった方を顕彰し、その功績を紹介することにより、市民のふるさと意識の高揚に資することを目的としています。

平成15年度に「偉人顕彰」という名称で始まり、郷土の誇りである名誉市民の方も含め、現在21名を偉人・先人として顕彰しており、今回新たに次の方を顕彰いたします。

【被顕彰者】

津本 陽 (つもと よう)

昭和4年(1929年)～平成30年(2018年)

本名寅吉(とらよし)。和歌山市出身の小説家。郷土和歌山を舞台にした『深重の海』で第79回直木賞を受賞。剣豪小説で人気を得て、歴史小説へと幅を広げ、『夢のまた夢』で第29回吉川英治文学賞受賞。平成9年に紫綬褒章、同15年に旭日小綬章を受章。同17年第53回菊池寛賞を受賞。郷土和歌山の偉人・先人である南方熊楠などを題材とした小説も数多く描き、歴史・時代小説の隆盛と育成に尽力した。



【顕彰の方法等】

1. 冊子「和歌山市の偉人・先人」

→現在顕彰している21名に今回顕彰する1名が加わり、合計22名の功績を掲載したものを作製し、各所で配布いたします。

2. マップ「和歌山市の偉人・先人ゆかりの地をめぐる探訪マップ」

→被顕彰者22名の略歴及び市内にある各人ゆかりの地について、画像とともに紹介したマップを作製し、各所で配布いたします。

3. 市庁舎玄関の写真等の掲示

→現在、庁舎正面玄関に21名の氏名、写真を掲示し、功績を紹介しています。令和2年度に、今回顕彰する1名を加え、22名を掲示する予定です。

4. 「市報わかやま」及び「和歌山市のホームページ」

→「市報わかやま」には5月号において氏名、写真、功績を掲載します。また、ホームページには、4月上旬から掲載します。